



こやの里なまり

(第8号)

令和5年 11月 1日(水)

兵庫県立こやの里特別支援学校

校長 石川 勝己

進路実現に向けて

進路指導部長 川原崎 亜希子

平素は、児童生徒の進路実現のためにご協力いただき、ありがとうございます。進路指導部は、「進路通信」を通して保護者の方に進路に関する情報を提供していくことも、大事な仕事のひとつだと思っています。今回はこの場をお借りして、表題についてお伝えしようと思います。

高等部では、年に1回学年ごとに進路説明会を実施しています。進路説明会の最後に「質問はありますか?」とお尋ねするのですが、なかなか質問を出していただけません。それは進路個人懇談でも同じで、「何が分からないのかが、分からない」「何を質問したらよいのかが、分からない」と皆さまおっしゃいます。確かに、特別支援学校の進路はイメージしにくく、どのように情報収集をしたら良いのかと、どなたも悩んでおられるのだと思います。まずは、お子さんがどのようなことが得意で、どのようなことに支援が必要なのか、考えてみてはいかがでしょうか。

先日、中学部の清掃活動を見学しました。子どもたちは、ほうきやちりとりを適切に使用し、ごみに見立てたシュレッダーの紙片をしっかりと集め、最後に「終わりました」と報告していました。教員は、子どもたちが一人で取り組むことができるように、電子黒板に掃除の流れを提示したり、まずは小さな空間を掃除することから始めたりするなど、工夫していました。その工夫により子どもたちは、またひとつ経験値を上げ、一人でやりきること達成感を感じ自信に繋げることができました。こういった取り組みの一つひとつが、卒業後の進路実現に繋がります。小学部、中学部の保護者の皆さまには、進路を考えるのはまだまだ先と感じられるかもしれませんが、是非、ご家庭におかれましても「一人でできた」という達成感を積み重ね、自信をつけることから始めていただきたいと思います。

本校の卒業後の進路は大まかに、「福祉サービスを使った進路」「就労や自立に向けた訓練」「障害者雇用枠での企業就労」が挙げられます。まずは、お子さんがどのようなことに興味があるのか、お住まいの地域にどのような事業所があり、どのような活動をしているのか、事業所までの距離や通勤手段等、家庭や学校でのお子さんの様子を踏まえて少しずつ情報を集めていただきたいと思います。

事業所へ個別で見学に行くことはハードルが高いと感じられるかもしれませんが。その場合は、年に一度合同事業所説明会が開催される地域もありますので、ご参加いただくことをお勧めしています。合同事業所説明会であれば高等部以外の保護者様も気軽にご参加いただけたと思います。また、個別の見学では実際の活動の様子を見学することで、事業所の雰囲気や環境などを知ることができる機会となります。個別の見学を希望される場合は、連絡帳で「〇〇の事業所へ見学に行きたい」というようにお知らせいただければ、進路指導部が見学のアポイントメントを取ります。その後、お子さんが連絡先等を書いたメモを家庭に持ち帰りますので、そのメモを基に事業所へ連絡し、見学日の相談を行ってください。

「百聞は一見に如かず」といいます。何事も実際に現場を見て知ることが大切です。何かご要望等がありましたら、進路指導部も知恵を振り絞って全力でサポートいたします。担任を通じて、お申し出ください。